

第05回

- 講演者：青山 崇洋 氏（佐賀大学）
 - 題目：レヴィ過程とゼータ関数
 - 日時：平成26年6月6日（金）16:30 – 17:30

確率過程論においてレヴィ過程と呼ばれるものが存在する。これはブラウン運動、ポアソン過程等を含む独立、定常増分性を持つ確率過程のクラスとして定義され、それらの従う分布は無限分解可能という性質があることが知られている。一方、リーマン・ゼータ関数を用いて定義される1次元の確率分布が無限分解可能という性質を備えたものとして古くから存在する。本講演では確率過程論の基礎からはじめ、新たに多変数のゼータ関数を定義して導入可能な高次元離散型確率分布の性質について得た結果を紹介する予定である。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

30 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2014/005>

Last update: **2017/11/16 18:23**

